

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【タイトル】

男と女の立場が逆なんだって

【作者名】

ぷー助

【あらすじ】

遙か昔、この地球を未曾有の危機から救った英雄がいた。しかし、その英雄は現代から召還されたどこにでもいるフツウの男子高校生。最初は戸惑っていたが、戦いの中で成長していった・・・そして魔王を倒し？真理の扉を開いて現在の世界へ・・・戻れなかった!? 真理の扉の先は、彼が暮らしていたパラレルワールド。さらに現代の世界であるから元の世界に戻る方法は

無い、果たして彼は元の世界に帰れるのだろうか？

プロローグでもありエピローグでもある

何時のことだったか

自分が勇者として戦っていたころ

何もかもが懐かしい

魔王を倒した？ときの会話を思い出す

「ふはは……勇者、我が倒されても第二、第三の……」

お前を犯そうとするものが現れるであろう!!」

「うわああああ!!!・・・はっ、はあ、はあ・・・さ、最悪だ・・・」
そう、上記に記した通り、魔王は勇者、つまりこの物語の主人公
坂町 徹夜の貞操を狙っていた。ちなみに魔王は女。

「畜生・・・なんて夢を見るんだ・・・」

くそ、何が悲しくて女に逆レイプされにやいかんだ・・・されて
ないけど。

どうも、皆さん初めまして。坂町徹夜だ。職業は学生・・・だけど
過去には勇者をやっていた、んだけどこんなことを言っても誰も信じ
ないだろうけど。

「はあ・・・とりあえず飯食いに降りよう・・・」

「徹羅！仕事行ってくるわ！」

「行ってらっしゃい、風音」

さあ飯食つか・・・ん？今おかしいところがあったって？そんなこ
とないわ。

「父さん、飯よそって」

そっいつて俺は右手でリモコンの電源ボタンを押す

「はい、徹夜」

『昨夜未明、都内電車にて、男性が痴漢されるといふ事件が発生しまし
た』

『最近増えてますね、こいつの事件』

『そうですね、特に若い女性、学生がこいつのことに走ることがふえてますね』

『根宮さんも危ないですよ？気をつけておくことに越したことはありませんよ』

『や、やめてくださいよ』

ハハハハハハ!!!

え？絶対おかしいって？そんなこと……

大有りだよ!!なんだよこれ!!

一体全体意味がわからない。テレビをつけるとこれ、漫画を見るとヒロインが男、グラビア誌は男性の半ヌードの写真e.t.c……

親父が働いていたはずなのにお袋が働いてるし、親父はこんなに女っぽくないし料理もできなかつたはずだ。

事は数日前にさかのぼる……

「最後だ魔王!!これで終わりだああああ!!!」

「かかって来るがいい!!勇者よ!!間違っつて我の胸に顔をうずめてもいいのだぞ!!」

「やめてくんない!?せっかく格好良く閉めようと思ったのに、何回目

だよこれ!?何回やり直したと思ってんの!?

「むう……仕方があるまい、お前が愛くるし過ぎるのがわるいのだぞ?こつしてお前を見ているだけでも我の子宮がうず」それをやめろつってんの!!」「むう……しかしどつすればよいのだ、我はお前を殺したくはないし、殺されるわけにもいかぬ」

「それは……」

「そうだ、こつすればいいのだ!お前を帰して我もそっちに行けばいいのだ!」

「いや……そうか?……いや、違うだろ!?だいたいお前が居なくなったら魔族はどうなるんだよ!」

「そんなもの側近にでも任せればいいのじゃ」

「魔王様!」

「よくないだろそれ!」

「しつこいのう……それ!!真理の扉!」

ズズズズ……ガンツ!

「おっおっ」

「気づいたときにはもう遅い!ゲートオープン!」

ガガガガガ……キーン!!

「ちょ、なんか吸い込まれる！やめろ！」

「ふふふ、大丈夫じゃ、ちゃんとお前の世界に通じておる（お前の住んでた世界のどこかわからぬがな・・・）」

「そういう問題じゃねえんだよ！しかも今なんか言っただろ！」

「あきらめろ、勇者。我もすぐにそちらに行く、楽しみに待っておれ！・・・最後くらいはちゃんとせぬとな」

「ふはは・・・勇者、我が倒されても第二、第三の・・・」

お前を犯そうとする者が現れるであろう!!」

「冗談じゃねえええ・・・・・・」

ゆづしや はとびら にすいこまれた！